

令和2年度学校関係者評価委員会報告

1. 開催日時：令和2年8月1日（土）13：00～
2. 開催場所：出雲医療看護専門学校 101教室

3. 学校関係者評価委員

委員氏名	所属
水谷 厚志（欠席）	学校法人水谷学園 出雲北陵高等学校 校長
打田 祥一	今市コミュニティーセンター
原 徳子	公益社団法人 島根県看護協会 理事
福田 勇司	一般社団法人臨床工学技士会 会長
西本 祥久	一般社団法人山陰言語聴覚士会 会長
三宅 夏生	卒業生 島根大学医学部付属病院
太田 真英（欠席）	一般社団法人理学療法士会 会長

4. 学校関係者評価結果

本委員会の目的：本校全般の運営について、本校教職員の自己点検。自己評価に基づき、学校関係者より評価と意見を聴き学校運営について組織的、継続的な改善に取り組む。

大項目	学校関係者評価委員からの意見	学校関係者評価
I 教育理念・目的・育成人材像	<p>・教育理念の周知が十分でないとのことであるが、教育理念を実践するにあたり、各学科での取り組みとその評価、見直しをしているか。</p> <p>⇒理念の周知に関しては教職員には浸透はしているが、個々の教育活動業務で忘れがちになることもある。振り返りで常に修正するようにしている。各学科で振り返りは行っている。</p>	3
II 学校運営	<p>・7つの視点と5つの数字とのかかわりについて。</p> <p>⇒学校運営にあたり、5つの数字が評価する点であり、7つの視点と連動しているわけではない。</p> <p>前年度の人事・給与制度の評価が低く、課題として制度の不足と人事考課システムの再構築とあるが、システムだけのことでなく、満足度が反映されていないという評価の意味合いに相違があるのではないか。</p> <p>⇒人事考課のしくみは就業規則にも記載しているが、全</p>	3

	<p>員が理解しているかという点、理解不足もある。現在は個々に対応している状況である。職員の満足度の反映については今後検討していく必要がある。</p>	
Ⅲ教育活動	<p>教員が臨床の研修に行くことはあるか ⇒臨床の方に学内演習に参加し、意見交換等をする。学科毎に異なるが、教員のスキルアップのため病院で研修することもある。</p> <p>教員が臨床で研修することで、学生指導により臨床のことを伝えることができ、学生に還元できると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体制になったということで体制を変えられたのか ⇒今まで学科毎に動いていたが、学科間の連携が希薄にあることがある。例えば3年生であれば度の学科も国家試験と就職ということで最終目標は同じであることから学年単位に変更した。 ・人員不足についての補充について、実際にどれだけ不足しているのか、人不足から本来やることができているのか ⇒教員の年度途中の退職があったことから、一時的な評価である。また定年退職による、教員採用の困難なことから課題とした。 	3
Ⅳ学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の社会的評価の中項目と小項目の数値がかなり低い、どのような評価をしているのか。 ⇒昨年初めて卒業後3年経過したので、卒業生離職率調査を実施した。学校としては就職先に長く勤めてほしいとの思いがある。3年調査をし、予想以上に頑張っているが、今後のどのように取り組み評価していくかということでの評価と考える。 ・就職指導での学生適性とはどういうことか ⇒学生の就職希望と学生生活面や行動から、就職指導を本人・保護者交えて行っている。 <p>適性ということは非常に難しく、今後早期離職するだろうと思っても頑張る学生、また逆に適性あると考えていたが、早期に退職等もあり、適性という概念が難しいところはある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既卒者へのフォローアップは社会的評価で大切と思うが、取り組んでいることはあるか。 	3

	⇒継続学修が必要なことから卒後教育や教育的なこと以外のフォローも含め、同窓会組織を立ち上げているところである。 ・就職指導はいつごろから始めるのか ⇒1年生からキャリアセンターの利用の指導から始め実施している。	
V 学生支援	就職フェアについてはオンラインで実施。 保護者説明会も個別で実施	3
VI 教育環境	・地域住民に対しての利用とはどのようなことか ⇒職能団体さまには無料で施設の貸し出しを行っている。 地域住民の方には、学生のヨガクラブで地域住民の方にも参加してもらおうように企画していた。 コロナの影響で実施できず。 地域の方の健康管理等でも学生に参加してもらいながら実施していく。	3
VII 学生募集と受け入れ	いろいろ実施されているので、もう少し評価が高くて良い 出雲医療看護専門学校ならではの取り組みとは ⇒3職種を体験でいろいろな職種を知り、希望学科で体験や模擬授業に参加するながれで、複数回の来校はあるが、学びということは工夫している点である。	3
VIII 財務	評価について中項目、小項目ともに4.0で修正	3
IX 法令の遵守	今回いただいたご指摘については、迅速に対応していきます。教育情報の公開については迅速に対していく	3
X 社会貢献・地域貢献	・今市のボランティアにも参加していただいたがコロナの関係で中断しているので、今後再開できれば継続していただきたい。	3

※評価基準

4:できている 3:ほぼできている 2:改善が必要 1:できていない

改善点として以下の項目をあげてみた。

- 1) 学園の教育理念は各教職員に理解はされているが、しっかりと浸透できるようなしくみづくりと各職員において具体的な行動レベルにつなげるしくみづくりが必要である。
- 2) 理念の各教職員への浸透にもつながるが、学校運営において人材育成という面から人事・給与システムの検討と職員のモチベーション維持ができることも必要である。

3) 教育面においては、新体制が軌道に乗っているので、学科間連携をこれまで以上に取り組む必要がある。そしてより臨床に沿った指導や教員間の視点の違いがあることがわかるように指導体制を整える必要がある。

4) 在校次だけでなく、卒業後のかかわりが少ないことから同窓会組織運営を発展させていく必要がある。